

■處女の顔 (六卷)

帝キネ声屋現代映畫

原作者
脚色並監督者

龜井清一氏
松本英一氏

撮影者
主演者

太田彌吉氏
里見明氏
澤らん子嬢

同 紹介 第二百十七號

自働車と喫茶店が無暗に喧える大阪云々のフー
ーラストタイトルから數場面丈見ると一寸氣が利
いた小品的な都會夜話でも見られるかと思つた
が見終つて見ると大して氣が利いたものでも
なかつた。今流行の喫茶店の女給を取扱つた
組の所は好い、惜しいかなその真髓に觸れて
居ないので諷刺劇として受入れられない點が
多い。松本英一氏の脚色監督は總てに氣障な所
があるように思へた。然を云へばあゝしたカフ
エー氣分を扱ひながらも何處かに一脈の鋭さを
持たしたかつた。

里見明氏の運轉手は相變り輕い演技を見せては
居るが、この役實感味を見せて居るには至つて
居ないと思ふ。澤らん子嬢の女給は適役である
がこれも現實の喫茶店女給とは少し縁の遠い演
出のように思へた。齊藤繁香氏の富豪は最も味
を出して居る、演技こそ異なれどマイブがどこ
か松竹の新井淳を若くした様な所があるのが一
寸興味を引いた。技術方面は佳真である。

山本 綠葉

興行價值——創作の様な題名が若い人の氣を引
くし、内容も若き人達に喜ばれよう。(二月
七日、大阪芦邊劇場封切)